



Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
 ●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
 ●会長/尾沢三夫 ●幹事/永見吉平 ●会報/伊藤慎哉

出席報告
 会員数78名

今週のお祝い
出席100%祝: 28年 宮本 守 君

会長挨拶

皆さんあけましておめでとうございます。本日のご来賓は佐田山千恵さんです。

プロの歌い手で、全国的に活躍されているらしいです。この度は、ロンドンより帰省中ということで、初春の例会にお呼びした次第です。

昨年のお正月は大変な大雪による災害で大変なスタートでした。それに比べ、今年の正月は穏やかな天候に恵まれ、雪もちらつくということで、極めて山陰らしい正月を迎えました。ご家族ともども、いい正月を迎えられたことと思います。今日の例会は20日振りであり、皆様にお会いできることを大変にうれしく思っているところです。

今日は、千恵さんのお話、歌声を楽しみに聞かせていただきたいと思います。彼女がこの道に進むときから友人として、いろいろなりサイタルに参加しています。「大変に円熟味を増してきたな」と感じているところであり、喜んでいっているところです。

私の年度も半年が終わって、いよいよ、後半戦のスタートです。これからはがんばっていきたくと考えています。皆様方のご協力をよろしく願いいたします。

新年例会乾杯
 新納元会長



幹事報告

1. バネルギーRI会長より年末年始のご挨拶
2. 12/18ガバナー・エレクト壮行会出席お礼
 (杉原次期ガバナー補佐出席)
3. 2/4.5中四国3地区合同オリエンテーションのご案内
 (倉敷シーサイドホテル)
4. 2/19地区チーム研修セミナー
 2/19地区夢計画合同セミナー
 (倉敷アイビースクエア)
5. 3/3会長エレクト研修セミナー(PETS) (")
 " アンケートのお願い
6. Rカード担当者任命のお願い
7. 境港RC創立50周年記念事業 1/22 前北海道日本ハム監督 梨田昌孝講演会の案内
8. 例会の変更のお知らせ
 米子南RC1/16(月)夜間例会 ビジター受付あり
 境港RC 1/24(火) " " 他

今後の予定

1/25 クラブ協議会
 2/8 家庭集会 (伊藤会員邸)
 2/15 5RC合同夜間例会
 (ホテルサンルート米子)

次回プログラム

1/18 「ロータリーの友」紹介
 「年男放談①」 松本正己会員
 「 " ②」 松浪昭二会員
 1/25 「 " ③」 池淵建夫会員
 「 " ④」 西村正男会員
 「 " ⑤」 牛込淳彦会員

お知らせ
 小谷隆則会員 転勤のため12月末退会されました



Reach within to embrace humanity
 こころの中を見つめよう 博愛をひろめるために

《プログラム》

「新年のごあいさつ」

声楽家 佐田山千恵氏



皆様、新年あけましておめでとうございます。声楽家の佐田山千恵と申します。歴史と伝統のあるロータリークラブにおきまして、ごあいさつをさせていただくことは非常に恐縮であり、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

本日は、歌の道を志してから今日に至るまでのことを歌を交えながら、ご紹介させていただきます。小さい頃から歌が大好きで、必ず、歌の道で成功したいという思いがあり、今から8年前の2004年2月に単身でイタリアに留学することに致しました。実は、イタリア語を全く知らず、友人や知人も一人もいない状態でのスタートでした。はじめは、先生の話を理解するために語学学校に通い、イタリア語を学ぶことにしました。ただ、「早く私の歌を聞いてほしい」、「早く歌の勉強を始めたい」という思いから、イタリア語学校の受付の方に「どなたかいい先生を知りませんか？」と質問をしたところ、運よく紹介していただき、オペラのレッスンをスタートいたしました。はじめは、音楽用語を頼りに録音を聞きながら、先生の話を理解し、レッスンを進めていきました。そして、ミラノ市立音楽学校の大学コースに入学することができ、5年間、歌の勉強をすることになりました。

オペラの代表作としては、ヴェルディーの椿姫、プッチーニの蝶々夫人、モーツァルトのフィガロの結婚等々様々なものがあります。そして、オペラの中でもレパートリーがあります。そのレパートリーは、女性、男性に分かれていて、女性の高音がソプラノ、中低音がメゾソプラノ、低音がアルトです。そして、男性は、高音がテノール、中低音がバリトン、低音がバスと大きく6つに分かれています。実は、ソプラノ中でも5種類に分けられており、その他の音域についても少しずつ種類があります。

そして、イタリア留学の5年間で順調に過ぎて、無事卒業することができました。この間、東京などで1年に1～2回サィタルをさせていただくことができました。その際にも、ロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。また、ロータリークラブのパーティーにおいて、計3回歌わせていただきました。そのときの様子を写真と共に紹介させていただきます。1度目は、留学する2ヶ月前の2003年12月にこのホテルサンルートにおけるクリスマスパーティーの席で歌わせていただいた写真です。そして、次に、2005年10月に2690地区の地区大会でオープニングソングを歌わせていただいたときの写真です、次の写真が両親と共に写った写真です。そして、昨年2011年11月に韓国のソウルにて、国際ロータリー3650地区の第50回記念地区大会のときに歌わせていただいたときの写真です。

イタリア留学を2年前に終えて、その後、イギリスのロンドンに行き、語学留学を始めました。英語でコミュニケーションをとりながら世界各地でのオーディションのチャンスをつかみたいと思ったからです。そのときに、とあるご縁で、イギリスのチャールズ皇太子様とお目にかかる機会が2度ありました。1度目は、2009年7月13日にチャールズ皇太子様のパーティーの席でシューベルトのアヴェマリアを歌わせていただきました。2度目は、昨年の2月7日に同じくウインザー城にて、ザ・フィルハーモニーの65周年記念パーティーでお会いすることができました。そのとき、チャールズ皇太子様から「あなたは今とても忙しいことでしょう」と声をかけていただいたことを覚えています。このように、今もイギリスを拠点に活動を続けています。私があこがれている歌手と言いますと、ソプラノのマリアカラスです。マリアカラスの歌はメロディーをきれいに歌うだけでなく、歌詞に込められた意味をきちっとした発音の基にお伝えすることのできる歌手だと思います。私もマリアカラスのように、一つ一つの歌詞に心を込めて、聞いてくださる方の心に響く歌手になりたいと思います。そのために、これからがんばって努力したいと思います。皆様のご声援をよろしく願いいたします。最後になりましたが、歌を3曲お届けしたいと思います。

1曲目：シューベルトのアヴェマリア

2曲目：ふるさと

3曲目：ヴェルディーの椿姫より乾杯の歌